

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

12/1
令和7年(2025年)
No.2417

今号は区内全世帯に
配布しています

区の広報紙「広報すぎなみ」は、主に新聞折り込みでお届けしていますが、12月1日号は新聞購読の有無にかかわらず区内全世帯に配布しています。

※12月15日号からは通常どおり新聞折り込みで配布します。

☎ 全戸配布に関する問い合わせは、全戸配布専用☎5389-0787（12月13日までの午前9時～午後5時〈日曜日を除く〉）、広報課 他委託事業者＝フットワークス

特集

「みどり豊かな 住まいのみやこ」を目指して

総合計画・実行計画などの 進捗状況をお知らせします



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区HP: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



お知らせ

「広報すぎなみ」は月2回（1・15日）発行。新聞折り込みでの配布のほか、区施設・区内各駅などの広報スタンドに置いています。入手が困難な方には個別配布をしています。ご希望の方は、電話・ファクス・申し込みフォームからお申し込みください。

「防犯・防災 そなえようすぎなみ 選べるカタログ」の申込期限を延長しました。詳細は、10面へ。

詳細は、区HP
(右2次元コード)を
ご覧ください。



総合計画・実行計画などの進捗状況をお知らせします

「杉並区基本構想」が目指すまちの姿「みどり豊かな 住まいのみやこ」の実現に向けた具体的な道筋として、6年1月に「杉並区総合計画」など6計画を改定し、計画に基づく取り組みを実施してきました。今号では、8年度の改定に向けて各計画のこれまでの取り組みと現状値などをお知らせします。

——問い合わせは、企画課へ。

杉並区総合計画・実行計画

基本構想（4年度からおおむね10年程度）に掲げる8つの分野ごとの取り組み

防災・防犯

みんなでつくる、災害に強く、
犯罪を生まないまち

主な指標

区内建築物の耐震化率

当初 92.9% → 8年度 96.3% → 12年度 99.0%以上

現状
(6年度) 95.6%

●耐震化の促進

耐震性が不足している住宅などに対し、耐震改修費用などの助成を実施しました。

防災・防犯分野のその他の取り組み

- 備蓄物資の充実
- 地域防犯対策の推進

まちづくり・地域産業

多様な魅力と交流が生まれ、
にぎわいのある快適なまち

主な指標

まちなみに美しさや落ち着きがあると思う 区民の割合

当初 79.6% → 8年度 86.0% → 12年度 90.0%

現状
(6年度) 82.6%

●良好な景観づくりの推進

魅力ある街並みを保全・創出するため、区民・事業者と協働して良好な景観づくりを推進しました。

まちづくり・地域産業分野のその他の取り組み

- 駅周辺まちづくりの推進
- 中小企業の経営と創業の支援の充実
- 人と環境にやさしい交通DX・GXの推進

福祉・地域共生

すべての人が認め合い、
支え・支えられながら共生するまち

主な指標

地域活動・ボランティア活動・就労している 高齢者の割合

当初 44.1% → 8年度 48.5% → 12年度 50.0%

現状
(6年度) 55.9%

●高齢者いきがい活動の充実

多くの元気な高齢者が地域の中で生きがいを持って活躍できるよう、必要な環境の整備・充実に努めました。

福祉・地域共生分野のその他の取り組み

- 男女共同参画の推進
- 障害者の社会参加支援の推進
- 生活困窮者やひきこもり等への自立支援体制の充実

子ども

すべての子どもが、
自分らしく生きていくことができるまち

主な指標

今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合

当初 96.6% → 8年度・12年度 98.0%

現状
(6年度) 97.6%

●地域における子育て支援体制の充実

子ども・子育てプラザや一時預かり事業など、乳幼児親子が安心して気軽に利用できる居場所の充実に努めました。

子ども分野のその他の取り組み

- 子どもの権利擁護の推進
- より良い子どもの居場所づくりの推進
- 地域における医療的ケア児の支援体制の整備

環境・みどり

気候危機に立ち向かい、みどりあふれる
良好な環境を将来につなぐまち

主な指標

区民一人当たりの公園面積

当初 2.22㎡/人 → 8年度 2.37㎡/人 → 12年度 2.47㎡/人

現状
(6年度) 2.30㎡/人

※参考：4年度末～7年度末（予定）までに増えた
区立公園の面積は20,771.18㎡。

●地域の核となる公園の整備

多世代が利用できる魅力ある公園づくりを推進するため、地域の核となる馬橋公園を拡張整備しました。

環境・みどり分野のその他の取り組み

- 区民及び事業者参加による気候変動対策の推進
- 限りある資源の有効活用の促進

健康・医療

「人生100年時代」を自分らしく
健やかに生きることができるまち

主な指標

がんの75歳未満年齢調整死亡率

※年齢調整死亡率＝人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口（昭和60年モデル人口）で補正して算出。

当初 男：73.3% → 8年度 男：67.8% → 12年度 男：57.4%
女：58.7% → 女：50.9% → 女：49.2%

現状
(6年度) 男：61.1%
女：51.1%

●がん対策の推進

がんによる死亡率の減少を目指して、早期発見・治療に向けたがん検診受診奨励の強化などを図りました。

健康・医療分野のその他の取り組み

- 在宅医療体制の充実
- 心の健康づくりの推進

学び

共に認め合い、
みんなでつくる学びのまち

主な指標

「自分の力をより良い社会づくりに生かすことができる」 と感じている中学校3年生の割合

当初 49.8% → 8年度 55.0% → 12年度 65.0%

現状
(6年度) 63.9%

●学び続ける力の育成

教員・学校が連携・協働して行う教育課題研究や、小学生からの連続性のある外国語教育などにより、学力の向上、コミュニケーション能力の育成を図りました。

学び分野のその他の取り組み

- 教育相談体制の充実
- 区立小中学校の増改築

文化・スポーツ

文化を育み継承し、
スポーツに親しむことのできるまち

主な指標

過去1年間に1回以上、文化・芸術鑑賞をした 区民の割合（オンライン配信含む）

当初 67.6% → 8年度 78.8% → 12年度 80.0%

現状
(6年度) 84.5%

●文化・芸術活動の創造と発信

文化の拠点である座・高円寺や杉並公会堂で、多世代で楽しめる舞台芸術・良質な音楽を提供しました。

文化・スポーツ分野のその他の取り組み

- 歴史・文化に親しむ機会の充実
- スポーツ・運動に親しむことができる場と機会の充実

杉並区区政経営改革推進計画

従来のコスト削減・効率化を追求した「量の改革」に加え、利便性・暮らしやすさを追求し、区民サービスの質を高める「質の改革」も重要であると考え、区民・地域団体・民間事業者などの知恵・創意を取り入れながら、区政経営の取り組みを進めました。

詳細は
こちら



主な取り組み

方針1 柔軟な発想に基づく業務の効率化と区民サービスの向上

民間事業者等の専門性などを生かした質の高い公共サービスの提供

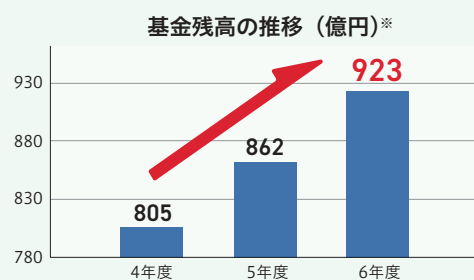
区立施設の施設運営パートナーズ制度（指定管理者制度）導入に関する方針を策定し、地域住民・指定管理者・区が連携しながら、より良い施設運営を目指すことを明確にしました。また、公共サービスを担う事業者を選定する過程を見直し、公正性・透明性を高める取り組みを進めました。

方針2 財政の健全性の確保と時代の変化に即応できる持続可能な財政運営の実現

持続可能な財政運営の確保

大規模災害・経済事情の著しい変動などによる減収・将来の区立施設の改築・改修需要に備えるため、健全な財政運営に努めました。

- 財政調整基金・施設整備基金などへの積み立てを着実に実施しました。
- 将来への備えを一層強固にするため、現下の物価高騰などを踏まえ、年度末の財政調整基金の積み立て目標残高を450億円に見直しました。
- 区役所本庁舎の建て替えを見据え、新たに杉並区役所庁舎整備基金を設置しました。



※ 財政調整基金・施設整備基金・減債基金の残高の合計。

方針3 対話協調型区政の推進

区政を話し合う会 聴くオフ・ミーティングの実施

区長と区民の皆さんが、行政課題を話し合うことにより、区政への関心を高めるとともに、課題解決に向けたさまざまな意見を伺いました。5年度はより多くの意見を聴くため、開催回数を10回に増やしました。

方針4 自治の更なる発展と自治体間連携の強化

参加型予算の実施

区が募集するテーマに基づいて、区民の皆さんなどからの提案・投票結果を踏まえて、次年度予算案に反映する事業案を選定する、参加型予算を実施しました。

森林環境譲与税基金の使い道

6年度予算に反映した事業

- 災害時に活用できる用具を公園に設置
- 歩行者が気軽に利用できる木製ベンチをまちなかに広めよう
- 区立公園に木製の遊具やベンチを設置



▲木製ベンチ（宮前4丁目・田淵さん宅）

気候区民会議の開催

無作為抽出により選出された区民の皆さんが、気候変動対策について学び、議論を重ねる気候区民会議を開催しました。会議で出た意見提案に対して施策への反映を検討し、区民参加による気候変動対策を推進しました。



▲会議の様子

杉並区区立施設マネジメント計画

「杉並区区立施設再編整備計画」の検証結果を踏まえて、これまでの計画策定プロセスを見直し、5年度に「杉並区区立施設マネジメント計画」を策定しました。6年度は、ワークショップ・オープンハウスなどを開催し、区が計画案を策定する前段階から、区民の皆さんと共に施設の課題の解決策を検討する取り組みを進めました。

詳細は
こちら



6年度に区民の皆さんと共に検討した取り組み

- 旧上荻窪会議室等の跡地活用と周辺施設の検討
- 高井戸東保育園・ゆうゆう高井戸東館の改築に関する検討
- 西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討
- 旧若杉小学校跡地の本格活用に関する検討（7年度も引き続き検討）



▲ワークショップの様子



▲オープンハウスの様子

杉並区デジタル化推進計画

区民の皆さんが行政のデジタル化のメリットを実感できるよう、デジタル技術を積極的に活用し、区民サービスの向上を図るとともに、区民サービスの向上にもつながる行政内部の効率化に取り組みました。

詳細は
こちら

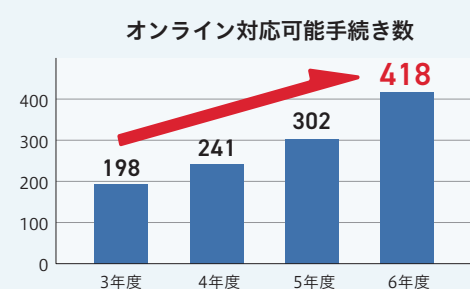


主な取り組み

方針1 デジタル技術を活用した区民サービスの向上

行政手続きのオンライン対応の推進

8年度末を目途に、法令上の制約がある手続きを除き、原則全手続きがオンライン対応可能となるよう、年間申請件数が1000件以上の手続きを中心にオンライン対応を推進しました。



▲スマートフォン版トップページ



▲すぎなみデータラウンジ（人口ダッシュボード）

区の情報を
より分かり
やすく！

方針2 行政内部のデジタル化による効率化の推進

新たなデジタル技術を活用した業務の効率化

自動化ツールなどの導入・活用により、申請書類のデータ入力などの定型的な業務の効率化に取り組み、業務時間の短縮を図りました。



業務時間
削減効果
(いずれも3年度比)

4年度 約6500時間
5年度 約8200時間
6年度 約8900時間

杉並区協働推進計画

社会の変化が激しい時代において、複雑化・高度化する地域課題の解決に向けて、区民・民間事業者・区などの多様な主体が課題を共有し、対等な立場で連携・協力する新たな協働の仕組みづくりに取り組みました。

詳細は
こちら



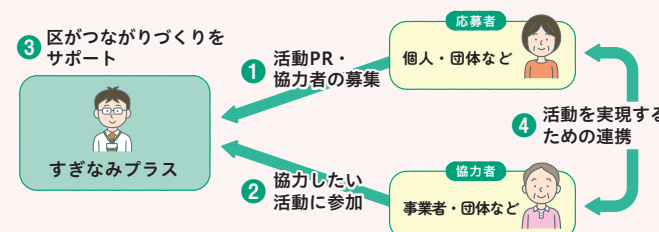
主な取り組み

方針1 多様な主体との連携による協働の推進

公民連携プラットフォームの運用

区民・地域団体・民間事業者・教育機関などのさまざまな立場の方と区が連携・協力していく「公民連携プラットフォーム」を推進するため、地域共創型ポータルサイト「すぎなみプラス」と、意見募集型ポータルサイト「すぎなみボイス」を開設しました。

[すぎなみプラスの流れ]



CHECK!

すぎなみプラスとは？

地域活動を充実させたい個人・団体と、ノウハウ・人材・場所などの提供を通して協力したいと考える個人・団体をつなぐポータルサイトです。地域の皆さんの思いに寄り添い、区も伴走しながら協働で新しいつながりを生み出し、地域の居場所づくりなどに取り組む複数のプロジェクトが実現しました。



▲みんなのうちに たつぷ



▲ネリオのこみち

方針2 区と地域団体等による課題解決に向けた協働の取組

杉並産農産物の地産地消の推進

農業関係団体などと連携し、即売会の充実や杉並産農産物を学校給食へ活用する「地元野菜デー」を全区立学校で実施するなど、地産地消を推進しました。



▲杉並産農産物を活用した学校給食